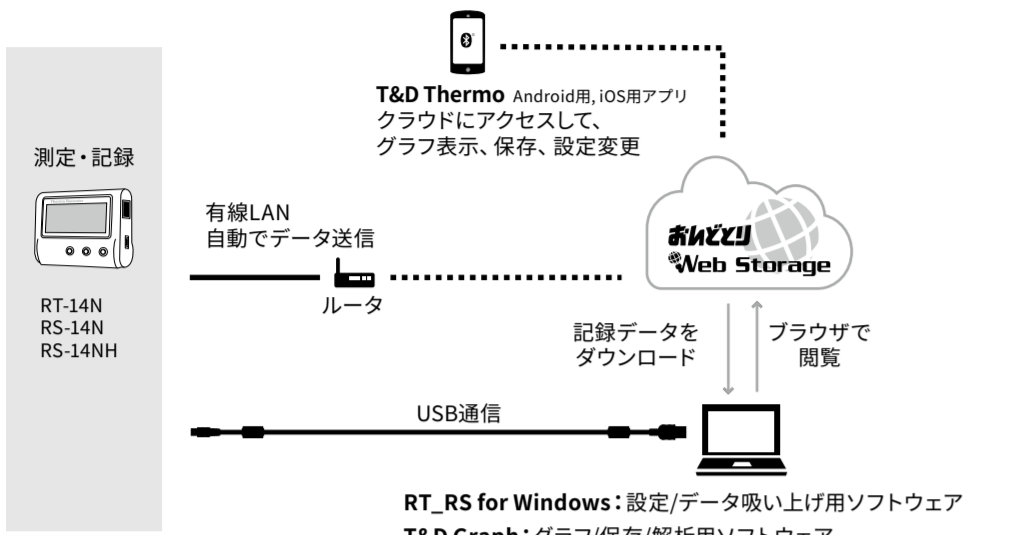


# クラウド対応 USB接続温度湿度データロガー RT/RS-14N 導入ガイド

エスペック ミック 株式会社

https://www.monitoring-especmic.co.jp/  
© Copyright ESPEC MIC Corporation. All rights reserved. 2024.12 16504983015 (第7版)



本書ではRT-14N、RS-14N、RS-14NHを総称して「RT/RS-14N」、「本体」または「機器」と記載しています。

## ボタン操作による記録間隔の設定

本体に電池とセンサをセットし、液晶画面が表示されているか確認してください。

工場出荷時の記録間隔は、1分に設定されています。変更したい場合は以下の手順で設定できます。

- 変更しない場合はこの設定は不要です。
- 記録を開始すると内部の記録データは消失します。
- REC** が点灯しているときは電源 OFF、記録間隔の設定変更はできません。

- 画面に **REC** が点灯している場合は、<REC/STOP>ボタンを長押しして **REC** を非表示 (記録停止状態) にしてください。
- <INTERVAL>ボタンを押します。
- Rec.** が表示している状態で、<INTERVAL>ボタンを数値表示が点滅するまで長押しします。



## 液晶表示について

本体の液晶表示では、測定値以外に以下のような表示があります。



<b>Web</b>	インターネット接続時の状態 点灯: インターネットへの接続に成功 点滅: インターネットへの接続に失敗 消灯: 自動送信がOFFに設定されている
<b>1 2</b>	現在表示中のチャンネル
<b>COM</b>	LAN通信中・USB通信中に点灯
<b>REC</b>	記録状態 点灯: データ記録中 点滅: 予約スタート待機中 消灯: 記録停止中
<b>ENDLESS ONETIME</b>	記録モード ENDLESS: 記録データ数が8,000個を超えると、一番古いデータから上書きし、記録を続けます。 ONETIME: 記録データ数が8,000個に到達すると、液晶画面に [FULL] と表示し、記録を停止します。 * ボタン操作での設定 / 変更は不可。工場出荷時はエンドレスモード
<b>DATA</b>	本体内の記録データ量

## おんどとり Web Storage

"おんどとり Web Storage" は、株式会社ティアンドデイが提供する無料のクラウドサービスです。おんどとり Web Storageを利用すれば、RT / RS-14Nから記録データを自動送信できます。Webブラウザから記録データにアクセスして、現在値や電池状態、警報状態の確認ができるほか、機器の設定変更も可能です。警報発生時には、登録したアドレスにEメールやプッシュ通知を送信します。おんどとり Web Storageを利用する場合は、ユーザ登録 (無料) と機器の登録が必要です。

### 注意事項

ユーザ登録を行う前におんどとり Web Storageのサービス内容や仕様について、[サービスの提供内容/利用規約]をご確認ください。

- 機器登録に必要な登録コードは、製品同梱の登録コードラベルに記載されています。登録コードを紛失した場合は、Windowsソフトウェア "RT\_RS for Windows"、またはスマートフォン/タブレット用アプリ "T&D Thermo" から確認できます。詳細はそれぞれのヘルプをご確認ください。

### 記録間隔とおんどとり Web Storageでのデータ保存期間

おんどとり Web Storageでは、設定された記録間隔に応じてデータの保存期間が変わります。

記録間隔	1秒	2秒	5秒	10秒	15秒	20秒	30秒	1分	2分	5分	10分	15分	20分	30分	1時間
データ保存期間	1日	2日	3日	6日	9日	12日	20日	40日	80日	200日	450日	450日	450日	450日	450日

- 希望する設定値が表示されるまで、繰り返し<INTERVAL>ボタンを押します。  
**Rec.1, 2, 5, 10, 15, 20, 30 sec / 1, 2, 5, 10, 15, 20, 30, 60 MIN**
- ボタンを押すのをやめてしばらくすると、測定値表示に戻り設定が完了します。

参考: 記録間隔と記録データ数が 8,000 個に到達するまでの期間

記録間隔	1秒	30秒	5分	15分	60分
期間	約2時間	約2日	約27日	約83日	約333日

- <REC/STOP>ボタンを長押しして、記録を開始します。記録中は、**REC** マークが点灯します。



記録中に<REC/STOP>ボタンを長押しすると記録を停止し、**REC** マークが消灯します。

	電池残量警告マーク * 点灯後は早めに電池を交換してください。マークが点灯しても電池の交換がされない場合は、液晶画面に [SLP] と表示し、すべての機能を停止します。 * [SLP] 状態のまま放置すると記録データは消失します。
<b>Upload.</b>	<INTERVAL> ボタンを押して自動送信間隔を表示しているときに点灯
<b>Rec.</b>	<INTERVAL> ボタンを押して記録間隔を表示しているときに点灯

### メッセージ表示

	センサエラー (未接続、接触不良、故障など)
	記録データが8,000個に到達すると表示 (記録停止状態) 記録モードをONETIMEに設定した場合に表示されます。
	スリープ 電池残量警告マークが点灯後、さらに残量が低下すると表示 (全ての動作を停止してデータを保護している状態) * 表示後、約1週間放置すると記録データが消失します。

## 自動送信とクラウドによる運用

### STEP 1 自動送信の設定をする

自動送信の設定を行うと、記録データを自動的にインターネット上のおんどとり Web Storageにアップロードすることができます。

- イーサネットコネクタにLANケーブルを接続します。

DHCPを使用せずIPアドレスを固定して利用する場合は、本体をパソコンに接続し、RT\_RS for Windowsから設定を変更する必要があります。具体的な操作方法については、ソフトウェア内のヘルプを参照してください。

- <INTERVAL>ボタンを2回押し、送信間隔を表示します。



- 数値表示が点滅するまで<INTERVAL>ボタンを長押しします。<INTERVAL> ボタンを押すごとに送信間隔が変わります。希望の記録間隔が表示されるまで<INTERVAL>ボタンを押します。  
**Upload.1, 2, 5, 10, 15, 20, 30 MIN / 1, 2, 3, 4, 6, 12, 24 HOUR / OFF**
  - 自動送信を行わない場合は"OFF"にしてください。
  - ボタンを押すのをやめてしばらくすると測定値表示に戻り設定が完了します。

### 自動送信の間隔と電池寿命の目安

自動送信の間隔が短いほど電池寿命が短くなります。

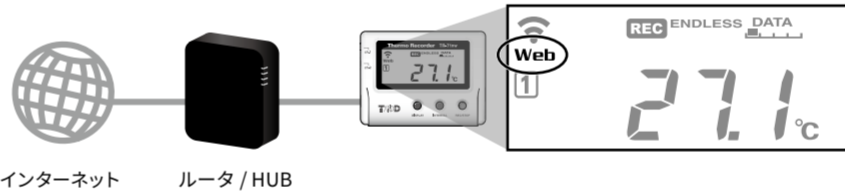
送信間隔	1分	10分	1時間	12時間
電池寿命	約10日	約2ヶ月	約1年	約1.5年

- 新しいアルカリ電池を使用したときの標準的な動作であり、電池寿命を保証するものではありません。
- 自動送信の間隔変更は記録開始後も行うことができます。

### STEP 2 設置する

設定を行った本体を実際に使用する場所に設置します。

インターネットへの接続状況を確認して設置する



<b>通信の確認</b>	<REC/STOP>ボタンを押すと、即時におんどとり Web Storageへ記録データを送信します。送信に成功した場合は、通信が終了 ( <b>COM</b> マークが消灯) 後も <b>Web</b> マークが点灯しています。 点灯: インターネットへの接続に成功しています。 <b>Web</b> 点滅: インターネットへの接続に失敗しています。ネットワーク設定を確認してください。
	データ送信中に、3本が流れるように点灯します。

### STEP 3 記録データを確認する

- パソコン、スマートフォンまたはタブレット端末のWebブラウザからおんどとり Web Storageにアクセスします。  
<https://ondotori.webstorage.jp/>
- [新規ユーザ登録する] ボタンをクリックし、画面に従って登録を行います。(すでにユーザIDをお持ちの方は次へお進みください。)
- 取得したユーザIDとパスワードを入力し、ログインします。
- [機器設定] メニューを開き、[+追加する] をクリックします。
- [新しい機器の追加] 画面で、シリアル番号と登録コードを入力し、[追加する] ボタンをクリックします。
- 本体の<REC/STOP>ボタンを押す、または自動送信が行われてしばらくすると、登録した機器と測定値が [データ閲覧] メニューに表示されます。

No. XXXXXXXX  
登録コード: 12345678

登録コードは製品同梱のラベルに記載されています。登録コードの上に記載されているNo.は、機器のシリアル番号です。



### 測定値が表示されない場合

- 本体の液晶画面に **REC** が点灯していることを確認してください。記録中でない場合、記録データは送信されません。
- 本体の <REC/STOP> ボタンを押し、ボタン操作でのデータ送信を試してみてください。
- STEP2の通信の確認を参照し、本体が通信可能な状態が確認してください。

### 測定値が更新されない場合

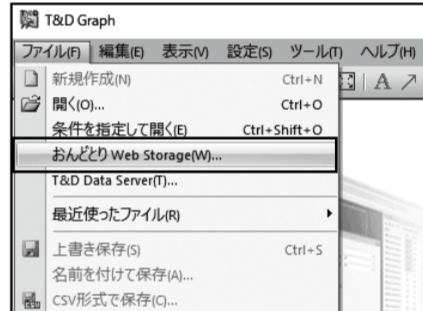
記録間隔が自動送信の間隔より短くなるよう設定してください。送信間隔より記録間隔が長い場合は、次の測定値が記録されるまで同じ値を表示します。

## Webブラウザ以外での閲覧

おんどとり Web Storageに送信された記録データは、WebブラウザだけでなくT&D ThermoやT&D Graphから直接アクセスし、閲覧・ダウンロードすることもできます。

\* T&D Thermoについては裏面の [スマートフォンで通信] を参照してください。

- 弊社WebサイトからT&D Graphをダウンロードし、インストールします。  
<https://www.tandd.co.jp/software/td-graph.html>
- [ファイル] メニューから [おんどとり Web Storage] を選択します。



- おんどとり Web Storageに登録したユーザID、パスワードを入力し、[Login] ボタンをクリックします。  
ログインに成功すると、おんどとり Web Storageのアカウントに登録した機器を一覧表示します。
- 確認したい記録データをダブルクリックします。  
データがダウンロードされ、グラフ表示します。

### STEP 4 設定を変更する

おんどとり Web Storageの [機器設定] メニューより、次の設定を変更することができます。

機器情報:  
機器名称、グループ名称、記録間隔、記録モード、自動送信間隔

チャンネル設定:  
チャンネル名称

警報設定:  
下限値、上限値、センサ警報、判定時間、電池警報ON/OFF



- 変更後の設定は、本体とおんどとり Web Storage が通信を行ったときに反映されます。すぐに設定を反映したい場合は、設定後に本体の <REC/STOP> ボタンを押してください。

